

2006 年度

科目名 文化財特殊講義Ⅲ（美術・工芸）	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者 阪田 宗彦
授業テーマ 仏教美術		
授業の概要と目標 多様に展回した仏教工芸はわが国の工芸の主流を占めている。しかし、その多様な内容は理解しがたく、その愛好ぶりは一部のコレクターに限られているのが現状である。本講では系統的に分類して、その理解をはかり、わが国の工芸制作の原点となった個々の作品にみる意匠、技法、造り等のすばらしさを確認しようとするものです。スライド・レプリカ・ビデオ・DVDを使います。		
評価方法 レポートでの評価に加え、発表、出席点も重視します。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 仏教工芸のはじまりと展回 2. 仏教工芸の分類 3. 荘厳具 舍利 4. 荘厳具 仏・菩薩 5. 荘厳具 経 6. 荘厳具 堂内 7. 供養具 香・華・燈、飯食 8. 僧具 9. 梵音具 10. 密教法具 雑密系、純密系、根本法具、補助法具 11. 山岳・修験関係品 12. 花と仏教工芸 13. 正倉院宝物にみる仏教工芸 14. 木漆工、金工、反革、牙角、……制作技法 15. 仏教工芸品の源流		